

## ごあいさつ

向春の候、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

高齢者を取り巻く状況は年々厳しさが増してくるようです。本学会としても高齢者のための看護実践の質向上や、そのためのシステムづくりについてこれまで以上に発信力をもち、社会的責任を果たしていくことが求められています。日本老年学会に加入したことにより、さまざまな課題をより多角的に取り組む土台ができたといえます。来る6月16～17日、初めての日本老年学会合同学会における学術集會を中島紀恵子先生のもとで開催することになりました。日本老年学会は、日本老年医学会、日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会と本学会から成ります。みなさまにはお一人でも多く本学術集會にご参加くださいますようお願い申し上げます。併せて関連学会の動きもご覧いただければと存じます。

平成23年度の総会は6月17日に開催いたしますが、これに伴い、今年の4～6月の事業につきましては、現理事会で平成22年度の事業計画に基づき、継続して実施してまいります。本件につきまして、みなさまのご理解とご協力をいただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

理事長 太田喜久子

## 1. 学術集會・総会の開催時期の変更に伴う学会活動スケジュールの変更

本学会は日本老年学会に加入し、日本老年学会が開催する2年に1回の総会（合同学会）に参加することになりました。それに伴い、日本老年看護学会の学術集會・総会は6月頃の開催に変更になります。学会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までです。これまで、総会は秋の開催でしたので、次年度の事業計画、および予算を総会において審議してまいりましたが、総会の開催時期変更に伴い、当該年度の事業計画、および予算の審議はその年の総会において行うこととなります。したがって、4月から総会開催時までの活動につきましては、前年度からの継続いたします。会計についてはこれまでどおり3月末で決算とし、4月の予算は、総会で予算が可決された後に執行することとなります。平成23年度4月から6月までについては、現理事会で平成22年度の事業計画に基づき、事業を継続して実施してまいります。また、学術集會・総会の6月開催に伴い、各委員会活動のスケジュール変更などが生じますが、これらについては総会、およびホームページ等にてご案内いたします。

## 2. 編集委員会からのお知らせ

すでに会員のみなさまのお手元に学会誌第15巻1号が届いていることと存じます。編集委員会では、12月末の発行を目指しておりましたが、諸般の事情により年を越えてしまいました。会員のみなさまにはご心配をおかけし、お待たせしてしまいました。発行が遅れましたこととお詫び申し上げます。第2号につきましては、5月の連休明けの発行を目途に、編集作業に取り組んでおります。平成23年度の第16巻は、今年度号よりも早く発行できるよう、努力してまいります。つきましては、第16巻1号の原稿締め切りを5月2日（月）、2号を9月30日（金）必着といたします。昨年の総会にてご報告しましたとおり、平成23年度より編集事務を業者に委託する予定で、現在、検討を進めております。決定次第、ホームページ、および次期総会等にてご案内いたしますが、第16巻1号の投稿原稿の送付先は現行のままといたします。会員のみなさまの投稿をお待ちしております。

また、第16巻1号より新投稿規程・新投稿チェックリストを適用いたします。第15巻1号の巻末および学会ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。論文執筆および投稿の際に、改正以前のものとお間違いのないようご確認願います。とくに、副本の表紙の作成、同封する論文部数、規定枚数について、規程・チェックリストをお守りいただけていない原稿が散見されます。投稿論文の受領がスムーズにいかない場合もありますので、ご注意ください。

本学術誌への投稿論文数が増えているなか、査読者のみなさまには大変ていねいに査読をしていただいております。心より感謝申し上げます。

### 3. 平成 23 年度総会について

第 16 回学術集会 2 日目, 6 月 17 日 (金) 11~12 時に NS スカイカンファレンス (学術集会第 2 会場) にて開催いたします。ご参加のほどをよろしくお願いいたします。

### 4. 平成 23 年度研究論文表彰選考について

学術集会・総会の開催時期変更に伴い, 平成 22 年度は研究論文の表彰選考をいたしませんでした。平成 23 年度は, 第 13 巻, 14 巻, 15 巻 1 号に掲載された論文を対象として表彰選考を実施する予定です。

### 5. 日本老年学会による調査事業について

本学会では, 平成 22 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業である日本老年学会による調査事業に参加しております。看護師有資格の会員のみなさまにご協力をいただき, 調査をいたしました。その結果を基に, 平成 22 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業シンポジウム「食べられなくなったらどうしますか? —認知症のターミナルケアを考える—」が日本老年医学会主催, 本学会等の共催にて, 2 月 27 日 (日) に東京大学鉄門記念講堂で開かれます。大変関心が高く, すでに定員に達しておりますので, 参加申込は締め切らせていただきました。会員のみなさまには別途, ご報告を予定しております。

### 6. 国際交流委員会からのお知らせ

国際交流委員会では, ホームページに「国際学術集会開催予定」のコーナーを設けております。すでに, 今年度開催予定の老年看護に関連する国際学会を掲載いたしました。ご活用いただき, 日本の老年看護の知見を世界に発信し, 各国の参加者と交流を深めていきましょう。

### 7. 入会申込書の様式の変更と会員拡大のお願い

平成 22 年 11 月の総会でご報告いたしましたように, 入会申込書の様式を変更いたしました。入会後に必要な事項を入会申込書から省くなど, 記入事項の簡略化を図りました。ホームページをご参照ください。会員のみなさまにおかれましては, みなさまのまわりの老年看護学の研究・教育・実践活動に従事していらっしゃる方々に声をかけていただき, 会員拡大にご協力いただきますようお願いいたします。

### 8. 日本老年看護学会第 16 回学術集会／第 27 回日本老年学会総会のお知らせ

平成 23 年は下記のとおり, 中島紀恵子学術集会長のもと, 第 16 回学術集会が開催されます。一般演題登録は 2 月 8 日まででしたが, 160 題のご登録をいただくことができました。多数のお申込みをいただき, ありがとうございます。

また, 今回は日本老年学会の加盟団体 (7 学会) による合同学会 (第 27 回日本老年学会総会) となり, 本学会におきましては初めての参加となります。会期 3 日間のうち, 第 1 日目に日本老年学会合同プログラム, 第 2・3 日目に各分科会プログラムが行われます。本学術集会ならびに合同プログラムへの参加, 他学会への参加につきましても, どうぞよろしくお願いいたします。

# 日本老年看護学会第16回学術集会

(第27回日本老年学会総会としての合同学会)

■ 会期：2011年6月15日(水)～17日(金) \*15日(水)は日本老年学会合同プログラムのみ

■ 会場：NSスカイカンファレンス(日本老年看護学会メイン会場)他  
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル30F (<http://www.shinjuku-ns.co.jp/>)

■ テーマ：長寿社会の活力を生み出す老年看護

■ 学術集会長：中島紀恵子(社団法人日本看護協会看護研修学校長)

■ 参加申込について：

本学術集会は、日本老年学会総会としての合同開催であることから、会場が複数に分かれております。当日、各会場に直接お越しいただけますよう、事前申し込みへのご協力をよろしくお願いいたします。

<参加費>

	会 員	非会員	学生 (大学院生は除く)
事前申込	10,000 円	12,000 円	5,000 円
当日申込	12,000 円	12,000 円	5,000 円

<参加申込方法>

下記郵便振替口座に、参加費をお振り込みください。

(会員のみなさまには、12月下旬にお送りしております学術集会ご案内に、専用振込用紙を同封しておりますので、ご活用ください。)

・加入者名：日本老年看護学会学術集会事務局

・口座番号：00100-4-734268

■ プログラム：

6月15日(水) \*日本老年学会合同プログラムのみ

日本老年学会合同シンポジウム「健やかな長寿社会へ向けての老年学会の取り組み」

特別講演「百歳社会の構造と設計」

パネルディスカッション「介護予防；現状・課題と新たな方向性」

日本老年学会合同ポスター発表討論，優秀ポスター賞表彰

6月16日(木) \*日本老年看護学会プログラム 第1日目

学術集会長講演 中島紀恵子「老年看護の過去・現在・未来」

教育講演1 権丈善一「介護保険政策の変遷と今後の課題」

教育講演2 堀内ふき「資格制度のなかの看護師；認知症ケア専門士」

シンポジウム1 「老人看護 CNS の活動の広がり」と将来展望」

ランチョンセミナー1 「老年者の薬理作用に基づくアセスメントのポイント」

交流集会1～4 一般演題発表

6月17日(金) \*日本老年看護学会プログラム 第2日目

特別講演 矢崎節夫「金子みずぶがみた“いのち”」

シンポジウム2 「認定看護師の高齢者への貢献」

3学会共催シンポジウム「新時代を迎えた Successful aging；多職種連携を踏まえて

～老年社会学，老年精神医学，老年看護学，介護学が果たす役割～」

\*3学会：日本老年社会科学会，日本老年精神医学会，日本老年看護学会

ランチョンセミナー2「根拠に基づく老年者のスキンケア」

分科会1「在宅ケア」 分科会2「施設ケア」

交流集会5～8 一般演題発表 日本老年看護学会総会

■ 第 27 回日本老年学会総会について：

- ・テーマ：活力ある長寿社会をめざして
- ・会長：高崎 優（東京医科大学名誉教授）
- ・参加学会：第 53 回日本老年医学会学術集会，日本老年社会科学会第 53 回大会，第 34 回日本基礎老化学会大会，第 22 回日本老年歯科医学会総会・学術大会，第 26 回日本老年精神医学会，日本ケアマネジメント学会第 10 回研究大会，日本老年看護学会第 16 回学術集会（計 7 学会）

【第 16 回日本老年看護学会学術集会事務局】

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2F

Tel : 03-5206-7431 Fax : 03-5206-7757 E-mail : rounenkango@nqfm.ftbb.net

\* 日本老年看護学会ホームページ <http://www.rounenkango.com>

\* 日本老年看護学会事務センター（ご入会をご希望の方は，こちらにお申し込みください。）

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2F

Tel : 03-5206-7431 Fax : 03-5206-7757 E-mail : rounenkango@nqfm.ftbb.net

## 9. 日本老年看護学会第 17 回学術集会のお知らせ

平成 24 年度は，第 17 回学術集会を日本老年看護学会単独で開催いたします。会期等は下記のとおりでございますので，ご予定くださいますよう，よろしく願いいたします。

- ・会期：平成 24 年 7 月 14 日（土）～15 日（日）
- ・場所：金沢歌劇座（石川県金沢市）
- ・学術集会長：石垣 和子（千葉県立保健医療大学）

## 10. その他

### 1) 平成 22 年度総会のご報告

平成 22 年度日本老年看護学会総会に関するご報告を，学会誌第 15 巻 1 号の巻末と学会ホームページに掲載いたしました。平成 21 年度の活動報告等がありますので，ご参照ください。

### 2) 学会ホームページを随時，更新しております

学術集会のご案内のほか，総会のご報告，研究事業の紹介，ワークショップや国際学会情報などホームページの内容が充実してきました。今年も随時，情報を更新してまいります。どうぞご活用ください。

### 3) 住所変更等の届け出のお願い

職場の変更，住所の変更などにつきましては，下記事務センターまで，同封の変更届にてお知らせください。3 月・4 月は異動の時期になります。学会誌第 15 号 2 巻の発送を 5 月に予定しておりますので，郵送が滞りませんよう，お早めにご連絡ください。何卒よろしく願いいたします。

【編集】総務（広報）担当理事：大塚真理子（埼玉県立大学）

【発行】日本老年看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2F

TEL : 03-5206-7431 FAX : 03-5206-7757

E-mail : rounenkango@nqfm.ftbb.net URL : <http://www.rounenkango.com/>

